

学校教育目標 新しい知を拓き、ともに生きる豊かな社会を創るため、主体的に学ぶ、人間性豊かな「南古谷っ子」を育成する
目指す学校像 みんなが みんなを 大切にする学校
南古谷小学校 5つのじまん あいさつ ことば なかよし 読書 歌声

川越市立南古谷小学校



学校だより

なのはな

かしこく ゆたかに たくましく

令和7年1月31日発行

エージェンシー

校長 馬場 雅史

退勤時、自家用車に乗り込む前、ふと見上げた夜空にオリオン座がはっきりと見えしました。まだまだ寒さも厳しい中でしたが、澄み切った夜空を見上げながらしばし時の経つのを忘れました。

明日から2月。2月は旧暦で「如月（きさらぎ）」と言われます。調べてみると、「如月」以外にも「木の芽月（このめづき）」「雪消月（ゆきぎえづき）」「恵風（けいふう）」「花朝（かちょう）」「梅見月（うめみづき）」「令月（れいげつ）」等、2月の異称はたくさんありました。春の訪れを待ちわびる情感あふれる言葉の数々に、昔の人々の感性の鋭さを感じるとともに心温まる気持ちにもなりました。

そのような中ですが、本日を含め本年度も残り36日（6年生にとっては34日）となりました。学校では、本年度の教育活動を振り返り、成果と課題を明らかにし、来年度の教育課程（教育活動の重点・努力点、学校行事等の改善等の計画）をつくっています。その貴重な資料のひとつが「学校評価」です。保護者の皆様には、ご多用の中本校の教育活動への評価をいただきました。様々なご意見を真摯に受け止め、教育活動を改めて見直しよりよい学校を築くために活用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

ところで、本日「南古谷小学校なかよしフェスティバル」が実施されました。6年生の子供たちが責任感をもってその中心となり、縦割り班を単位として全校での交流を実施する行事です。この行事は、6年生から5年生へバトンを引き継ぎ、さらには異学年交流で絆を確かめ合うよい機会となっています。また、この行事の価値あるところは、担当教員が時間内に収まるように内容を考え、子供たちにおろしていくのではなく、子供たちの発案や思いを汲み、教員も含めて一緒に創り上げていく部分にあると捉えています。子供たちが限られた時間の中で集中して準備に取り組み、試行錯誤を繰り返しつつ、振り返り、改善していこうとする様子に大変嬉しくなりました。そして、何よりも大切なことは、子供たちの思いがこもった行事になっていることだと思います。やり遂げるまでの苦労とやり遂げた後の達成感を自信につなげてほしいです。

OECD（経済協力開発機構）の『ラーニングコンパス 2030』の中で、中核的な概念とされているものが「エージェンシー」です。その意味するところは「変化を起こすために自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力」と捉えることができます。今回の「南古谷小学校なかよしフェスティバル」において子供たちが取り組む姿に「エージェンシー」の一端を垣間見ました。翻って、学校の教育活動全般において、子供たちとともに我々職員も責任感をもち、自分で考え、求め、行動し、よりよい南古谷小学校を創っていくための「エージェンシー」をブラッシュアップさせていきたいと強く思いました。

保護者の皆様へ

令和7年度の日課表について、右のQRコードより読み取りご確認をお願いします。
子供たちと直接関わる業務に専念するための時間を確保したいと考えております。
何卒、ご理解ご協力をお願いいたします。

QR コードは
紙面をご確認
ください。

QR コードは
紙面をご確認
ください。

欠席連絡は
コチラから

